



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月31日

上場会社名 平河ヒューテック株式会社
 コード番号 5821 URL <https://www.hewtech.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 (氏名) 篠 祐一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 星 一昭
 四半期報告書提出予定日 2020年8月5日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3457-1400

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,924	16.5	297	34.9	322	19.3	216	29.4
2020年3月期第1四半期	5,897	11.1	456	31.7	400	42.8	306	40.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 209百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 135百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	15.40	
2020年3月期第1四半期	21.80	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	34,940	25,722	73.6	1,831.14
2020年3月期	35,044	25,695	73.3	1,829.20

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 25,722百万円 2020年3月期 25,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		12.00		13.00	25.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		12.00		13.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	11.6	1,850	20.3	1,850	17.0	950	42.8	67.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	17,627,800 株	2020年3月期	17,627,800 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	3,580,354 株	2020年3月期	3,580,310 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	14,047,470 株	2020年3月期1Q	14,047,490 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、四半期決算短信(添付資料) P2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、8月5日(水)に四半期決算補足説明資料を開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(会社方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により個人・企業の活動が制限されたことで、極めて厳しい状況となりました。

海外経済は、中国では経済活動の再開により持ち直しの動きが続くものの、同感染症の影響により、アジア、米国、欧州と外出制限等の経済活動の抑制が続き、極めて厳しい状況となりました。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界におきましては、半導体関連の設備投資は回復基調にありましたが、産業機器市場、車載市場は同感染症の影響により、生産活動の制限や需要の減少がみられました。

このような環境の下、売上高は49億24百万円（前年同期比16.5%減）となりました。売上高が減少したことにより、営業利益は2億97百万円（同34.9%減）となりました。為替差損等が減少したことにより、経常利益は3億22百万円（同19.3%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は2億16百万円（同29.4%減）となりました。

主なセグメント別の業績は、次のとおりです。

（電線・加工品）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、自動車、産業機器等の各市場においては需要の減少となり、加えてフィリピン、メキシコの各拠点において、各所在国の感染防止策により稼働制限を受けたことから、車載用ケーブル、エネルギー産業関連ケーブル、産業機器用ケーブル等の売上が減少したことにより、売上高は39億43百万円（前年同期比17.2%減）となりました。売上高の減少等により、セグメント利益は2億91百万円（同28.0%減）となりました。

（電子・医療部品）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、フィリピン拠点において、感染防止策により稼働制限を受けたことから、診断用及び治療用の医療用特殊チューブの売上が減少し、放送局の設備投資が一巡し4K/8K放送に対応した放送機器の売上也減少したことにより、売上高は9億43百万円（前年同期比13.7%減）となりました。売上の減少等によりセグメント利益は1億72百万円（同26.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億4百万円減少し、349億40百万円となりました。主な減少は、受取手形及び売掛金の7億25百万円であり、主な増加は、有形固定資産その他（純額）の6億58百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億31百万円減少し、92億17百万円となりました。主な減少は、長期借入金2億75百万円、支払手形及び買掛金1億39百万円であり、主な増加は、未払金2億91百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ27百万円増加し、257億22百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益2億16百万円、利益剰余金の配当1億82百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により予断を許さない状況にありますが、現時点では各国の経済活動の再開が段階的に進められるなかで、持ち直しの動きが続くことが期待され、当社の関連する各市場においても回復の傾向が見込まれます。

このような事業環境のなか当社グループは、中長期的な成長投資を極力確保しつつ、受注・売上の確保はもとより、諸費用の抑制など、徹底した経営効率化により業績向上に努めてまいります。

連結業績につきましては、連結売上高220億円、連結営業利益18億50百万円、連結経常利益18億50百万円、連結当期純利益9億50百万円を見込んでおります。業績管理は年次のみで行っているため、第2四半期連結累計期間の業績予想は行っておりません。

なお、本業績見通しにおける外国為替レートは、1米ドル＝108円を前提としております。

今後新型コロナウイルス感染症が世界的に再拡大し、当社の需要や操業に影響を及ぼす恐れがありますが、その影響については上記業績予想には織り込んでおりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,437	9,442
受取手形及び売掛金	6,609	5,884
有価証券	—	100
商品及び製品	1,626	1,627
仕掛品	582	547
原材料及び貯蔵品	2,017	2,247
その他	683	520
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	20,953	20,365
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,088	3,018
機械装置及び運搬具(純額)	3,822	3,722
土地	2,544	2,543
その他(純額)	1,834	2,492
有形固定資産合計	11,289	11,777
無形固定資産	834	845
投資その他の資産	1,967	1,952
固定資産合計	14,091	14,574
資産合計	35,044	34,940

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,734	1,595
短期借入金	1,652	1,543
未払法人税等	127	114
賞与引当金	28	66
災害損失引当金	63	24
その他	1,000	1,374
流動負債合計	4,607	4,719
固定負債		
長期借入金	2,531	2,255
退職給付に係る負債	1,994	2,019
役員退職慰労引当金	42	43
その他	173	179
固定負債合計	4,741	4,497
負債合計	9,349	9,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,555	1,555
資本剰余金	1,459	1,459
利益剰余金	24,191	24,225
自己株式	△2,340	△2,340
株主資本合計	24,866	24,899
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	305	366
繰延ヘッジ損益	15	8
為替換算調整勘定	489	431
退職給付に係る調整累計額	18	17
その他の包括利益累計額合計	829	823
純資産合計	25,695	25,722
負債純資産合計	35,044	34,940

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	5,897	4,924
売上原価	4,412	3,682
売上総利益	1,484	1,242
販売費及び一般管理費	1,028	945
営業利益	456	297
営業外収益		
受取利息	9	13
受取配当金	7	6
助成金収入	6	20
その他	4	9
営業外収益合計	27	50
営業外費用		
支払利息	9	2
為替差損	52	3
創立費	15	—
開業費	0	9
その他	5	9
営業外費用合計	83	25
経常利益	400	322
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
特別損失合計	—	—
税金等調整前四半期純利益	400	322
法人税、住民税及び事業税	102	108
法人税等調整額	△8	△2
法人税等合計	93	106
四半期純利益	306	216
親会社株主に帰属する四半期純利益	306	216

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	306	216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	61
繰延ヘッジ損益	△4	△7
為替換算調整勘定	△451	△57
退職給付に係る調整額	△1	△1
その他の包括利益合計	△442	△6
四半期包括利益	△135	209
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△135	209
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

当第1四半期連結会計期間より、福泰克（惠州）電子有限公司は新たに設立したため、連結の範囲に含めておりません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電線・加工 品	電子・医療 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,764	1,092	5,857	39	5,897	—	5,897
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	4	14	—	14	△14	—
計	4,774	1,097	5,872	39	5,912	△14	5,897
セグメント利益	405	234	639	25	665	△208	456

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、転売品及び不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2億8百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1億96百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電線・加工 品	電子・医療 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,943	943	4,887	37	4,924	—	4,924
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	2	12	—	12	△12	—
計	3,953	945	4,899	37	4,936	△12	4,924
セグメント利益	291	172	463	25	489	△192	297

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、転売品及び不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1億92百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1億83百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。